

# 花の里づくりの会

第18号会報 2022年4月発行



第十回記念樹《平成27年3月植樹》

ウメ (撮影：小松賢吉氏)

科：バラ科 属：サクラ属  
和名：ウメ (梅)  
英名：Japanese apricot 学名：Prunus mume  
原産地：中国 開花期：毎年1-3月ごろ

ウメは、バラ科サクラ属の落葉高木、またはその果実のこと。果実を利用する品種は「実梅」として扱われ、未熟なものは有毒であるものの、梅干などに加工して食用とされる。樹木全体と花は鑑賞の対象にもなり(花梅)、日本には花見や梅まつりが開かれる梅林や梅園が各地にある(借楽園、吉野梅郷など)。枝や樹皮は染色にも使われる。日本では6月6日が「梅の日」とされている。天文14年4月17日(旧暦、1545年6月6日)、賀茂神社の例祭に梅が献上された故事に由来する。

## ごあいさつ

昨年度から新型コロナウイルス感染拡大の波が何度も繰り返されて、2年を経過することとなりました。会員の皆様、新羽に花の鑑賞のために足を運んでいただく方々には、霧の中のよう先行きが見通せない日々が続き、なかなかゆっくりと外に出かけられない状況だったのではないのでしょうか。

本会におきましても、役員会については、会の運営のため何とか役員の方々に集まって頂いて開催を続けてまいりました。また本来、会員の皆様へのご参加をお願いするべき総会についても、最小限の人数に絞って短時間の開催にするなど、感染対策を工夫しながら、手探りで活動をしてきた1年でした。

しかし、こんな状況の下でも、樹木は毎年と同じように、成長して枝葉を広げ、花をつけます。新羽・花の里の寺院や神社に植えられた樹木も、いつもの年と変わらずに、蕾（つぼみ）を膨らませて、見事に美しく花を咲かせました。そして新羽小学校では、卒業生が、例年と同じように卒業記念植樹をおこない、立派に巣立っていきました。これは、日頃何かと不安と迷いの中で生活している私たちに、命の力強さと素晴らしさを感じさせてくれると共に、未来へ向かっての希望を抱かせてくれるものでもあります。


そんな植物からの力をもらう形で、花の里の会としても、昨年も寺社、公園への植栽を継続し、その上で新たな活動として、「新羽の未来をつくる会」への植栽の協力、地域の歩道の植栽への協力を行うなど、コロナ禍の中でも少しずつ会の裾野を広げていくことができました。新羽高校での活動についても再開へ向けた取り組みが始まっています。

年々歳々、花を咲かせる樹木のように、私たちの活動は、周りの変化にとらわれる事もなく、しっかりと地面に根を下ろして、一步一步地道に進んでいきたいと思えます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。


花の里づくりの会 会長 吉田厚雄





## 2021年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆市立新羽小学校◆ 卒業記念樹 しだれ梅 八重桜ピンク
- ◆光明寺◆ ヒガンバナ赤 200 球、キツネノカミソリ 200 球、サフラン 200 球、フリージア黄 200 球、アマチャ 5 球
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ白 100 球・黄 200 球、秋海棠 赤 5 株・白 5 株、ミモザアカシヤ 1 本、ミツマタ 1 本、アザレア椿 1 本
- ◆善教寺◆ ドウダンツツジ 10 株、クルメツツジ 10 株、ヤマモミジ 5 本、椿 5 本
- ◆蓮華寺◆ ニホンスイセン 40 球、シャクヤク 3 株・シャクナゲ 3 株、チューリップ白 40 球・黄 4 球
- ◆新羽の未来をつくる会◆ インパチェンス 40 株、ペンタス 20 株、パンジー 60 株
- ◆新羽ケアプラザ◆ マリーゴールド
- ◆その他◆ 枯れた木などの補植



## 2022年度の植栽及び事業計画

- ◆新羽丘陵公園◆ 丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆ 通学路の美化整備の花の苗の協力
- ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 未定 1 本
- ◆光明寺◆ ヒガンバナ赤 300 株、ヤマユリ 10 球、キツネノカミソリ 300 球、ニホンスイセン 200 球、フリージア黄 200 球、シモツケ 5 株、コデマリ 5 株
- ◆西方寺◆ ヒガンバナ黄 200 球・白 100 球・ピンク 500 球、秋海棠赤 5 本・白 5 本、ミモザアカシヤ 1 本、アザレア椿 1 本
- ◆善教寺◆ ドウダンツツジ 10 株、クルメツツジ 10 株、ヤマモミジ 5 本、椿 5 本
- ◆蓮華寺◆ ユキヤナギ 3 本、酔芙蓉 2 本、彼岸花黄 15 株・赤 15 株  
チューリップ赤 40 球・白 40 球・黄 40 球
- ◆専念寺◆ 必要があれば植える
- ◆杉山神社◆ 必要があれば植える
- ◆新羽の未来をつくる会◆ 春・秋 花苗を指定 4 ケース提供
- ◆新羽ケアプラザ◆ マリーゴールド
- ◆その他◆ 枯れた木などの補植

# 専念寺

横浜市港北区新羽町1578番地  
TEL (045) 531-1518



ジャーマンアイリス4月



シャクナゲ4月



よこはま桜2月



藤4月



河津桜2月



しだれ桜4月



桃・桜・白蓮3月



梅2月

# 善教寺

横浜市港北区新羽町2396番地  
TEL (045) 531-5050



御坊公園入口 7月



シラン 4月



白木蓮



新田地区 名木・古木「楠木」 樹齢 約250年



ホテアオイ9月



雪柳3~4月



藤棚

# 西方寺

横浜市港北区新羽町 2586番地  
TEL (045) 531-2370



アヤメ



アザレア椿



モクレン



ミモザ



彼岸花



中日桜



あじさい



蜷梅

# 光明寺

横浜市港北区新羽町3990番地

TEL (045) 591-0590



サフラン 11月



桜 4月



梅 2月



梅 2月



オニユリ 7月



夏水仙 8月



フリージア 4月



ヤマユリ 7月



キツネノカミソリ 7月



ヤマユリ 7月

# 蓮華寺

横浜市港北区新羽町 3952番地



八重山吹



日本水仙



雪柳



モクレン



サツキ



枝垂れ桜







## 強く気高い心で

新羽小学校 校長 佐藤 恵子

2月25日、うららかな春の陽気のもと、6年生は、花の里づくりの会・新羽丘陵公園愛護会・港北土木事務所の役員の皆様・本校PTA会長様・地域協力者の皆様のお力添えにより、卒業記念の植樹をさせていただきました。今年度の6年生は濃い桃色の花が咲く「しだれ梅」を記念樹として選びました。

卒業記念の植樹は、この「しだれ梅」で17回目と伺いました。これまで植えられた樹木は、その一本一本に願いが込められ、この緑の丘から悠然とした姿で子どもたちの成長を愛情深く見守っています。花の里づくりの会に代表される緑あふれるまちづくりにおいても、新羽の尊い子育て文化が継承されていることに深い感銘を受けます。

今回用意していただいた苗木は、日本的な雅な美しさを漂わせながら、しなやかで力強い生命力にあふれていました。「どんな時代が来ても困難に耐え、しっかりと根を張り、光に向かってまっすぐ育ち、気高く美しい花を咲かせましょう。」ほのかな梅の香りとともに、そんな力強いメッセージが聞こえて来るような荘厳な梅の木でした。みんなで植えた「しだれ梅」がこれからこの緑の丘で育ち、毎年美しく咲き誇ることを想像しながら、私は、卒業していく子どもたちの心身ともに健やかな成長と幸せを祈りました。

今回、コロナ禍によるさまざまな制限にも関わらず、このような貴重な機会をいただきましたことについて、関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、これからも「しだれ梅」の成長とともに卒業生に成長を見守り支えていただきますようお願い申し上げます。



## 新羽小学校PTA会長 平瀬 伸 恵

新羽丘陵公園に今年で17回目を迎える新羽小学校卒業記念植樹が2月25日に行われました。

本年度は、しだれ梅を花の里づくりの会よりいただき、新羽丘陵公園愛護会、港北土木事務所、地域協力者の皆様のご協力を賜り植樹いたしました。晴天に恵まれ、卒業生たちは各々に水を入れたペットボトルを用意して集まり、全員でしだれ梅に丁寧に水をあげ、最後に綺麗な八重のしだれ梅の絵が描かれた手作りのプレートを付けました。

こちらのしだれ梅は、2月中旬から3月にかけて花が咲くと伺いました。冬の寒さが残る時期にも新羽丘陵公園に気品高く艶やかな花と香りがふんわりと漂うことと存じます。

梅は、厳しい寒さに耐えてどの植物よりも早く花を咲かせ春の訪れを告げることから、喜びの象徴とされています。今年度の卒業生の皆さんは、生活や学校行事に色々と制限のあったご時世でも不屈の精神で物事を成し遂げ、頑張る姿で周囲に喜びを届けてきましたので、まさにびったりな卒業記念樹をいただきました。

梅には「高潔」という花言葉があります。卒業生の皆さんがしだれ梅と共に、人格、思想が立派で気高く清らかに成長しますことを願います。

このような素敵な場所と機会をご提供くださいます花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、関係者の皆様には、PTAを代表し心より御礼申し上げます。今後とも、新羽の子どもたちと歴代17種の卒業記念樹を見守り、暖かくご指導いただけますと幸いです。誠にありがとうございました。



## 港北区長 鳩澤聡明

新羽小学校卒業記念植樹の開催、おめでとうございます。

日頃から、新羽小学校をはじめ、花の里づくりの会、新羽丘陵公園愛護会、地域の皆様のご尽力により、魅力あるまちづくりに取り組んでいただき、本当にありがとうございます。

さて、新羽小学校を卒業される皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

地域の皆様、先生方、そしてかけがえのない友人と共に、充実した6年間を過ごしてきたことと思います。

皆さんにとってこの新羽丘陵公園は、学校から見える位置にある、身近な緑の環境であったと思います。地域の皆様と共に、畑づくりやタケノコ堀など、生徒の皆さんが自然と触れ合う場として、親しまれている公園であると伺っています。

新羽丘陵公園がこのような素敵な公園であり続けているのは、皆さんが通うこの新羽で「花の里づくりの会」や「新羽丘陵公園愛護会」に代表される地域の皆様が、花と緑あふれる魅力的なまちづくりに取り組んできたおかげです。

地域の皆様による活動のおかげで、新羽丘陵公園は人と人をつなぐ大きな役割を持った公園になりました。きっと、これからも沢山の生徒がこの公園で学び、卒業していくことでしょう。卒業後もこの身近な公園をご利用いただければ幸いです。

梅は学問の神様とされる菅原道真と関係が深いそうです。また、平安時代の女流作家・清少納言が愛した花とされているそうです。皆さんの卒業を祝う植樹に大変ふさわしく、美しい木と思います。

新羽小学校を卒業される皆さんが、花と緑を愛する大人に成長することを心からお祈りして、私のメッセージとさせていただきます。

## 新羽の未来をつくる会



平成27年に発足した「新羽の未来をつくる会」は新羽町連合町内会と新羽地区社会福祉協議会の後援のもと活動しています。

新羽駅ガード下のプランターには「花の里づくりの会」より提供していただいた季節の花が、ボランティアの定期的な手入れできれいに咲いています。

春・秋年2回の植え替えでは、ボランティア・会のメンバーやケアプラザの皆さんと共に近くの保育園児も参加して地域の交流の場にもなっています。

また、ガード下を明るくする壁画計画も進めていく予定です。

今後とも皆様のご支援を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。



## オレンジの輪 プロジェクト



マリーゴールド（新羽地区）

マリーゴールド 200 鉢の寄付と新羽地域の住宅街への植栽。

## ご挨拶

顧問 善教寺 平等 勝 尊

「花の里づくりの会」の会報も18号となりました。

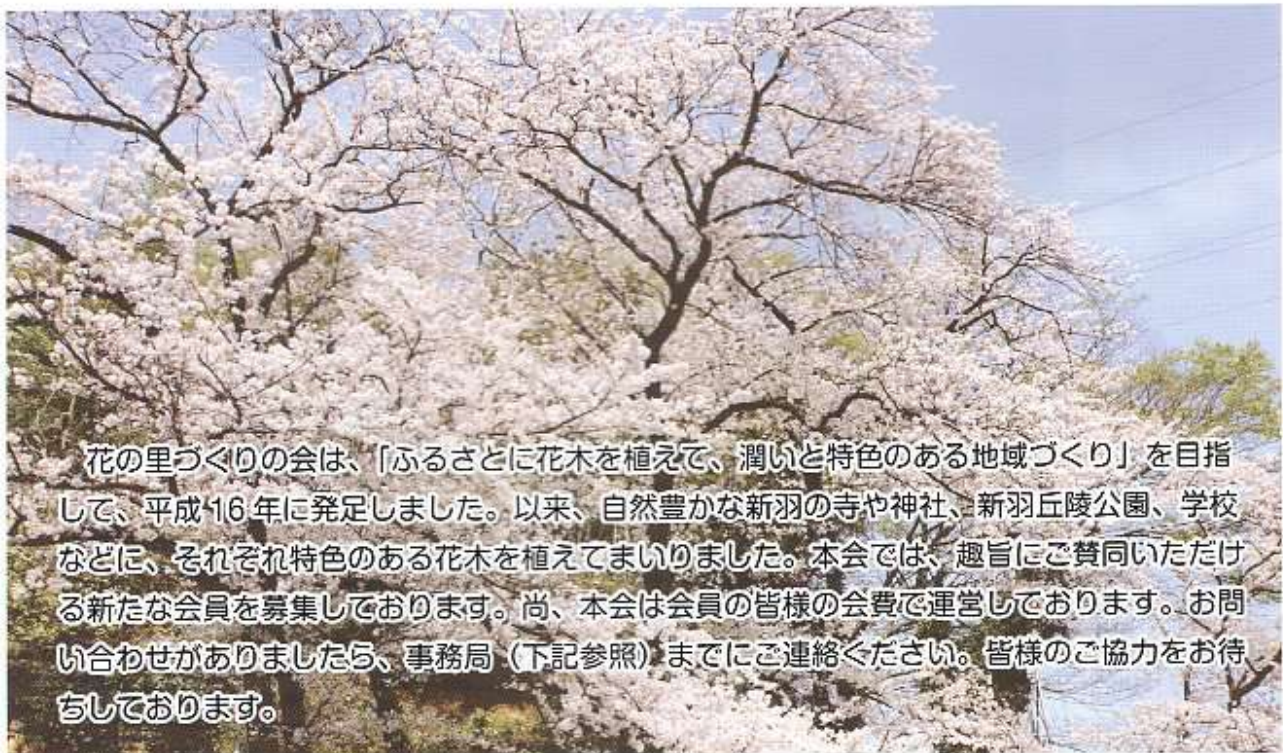
この間、役員交代、新羽丘陵公園での新羽小学校卒業記念植樹など、植樹された生徒も成長し、記念樹と共に大きく成長されたと思います。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し何事も縮小されてしまいました。

善教寺では、外出もままならず、山林整備に努めました。植え付け場所は参道上の天山台です。頂上からは、富士山が眺める高台です。

昨年、入口付近に灯笼一對を建て公園入口としました。そこには幼稚園で使用したシーソー、ベンチ、ブランコなどを置きました。また、植木は、梅、桜、椿、藤棚などもあります。5年後頃にはもっと整備され、近所の子どもたちが急な坂を登り、遊びにきて欲しいと思います。

今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



花の里づくりの会は、「ふるさとに花木を植えて、潤いと特色のある地域づくり」を目指して、平成16年に発足しました。以来、自然豊かな新羽の寺や神社、新羽丘陵公園、学校などに、それぞれ特色のある花木を植えてまいりました。本会では、趣旨にご賛同いただける新たな会員を募集しております。尚、本会は会員の皆様の会費で運営しております。お問い合わせがありましたら、事務局（下記参照）までにご連絡ください。皆様のご協力をお待ちしております。

---

花の里づくりの会 会報第18号 2022年4月発行  
発行者/花の里づくりの会 会長 吉田 厚雄  
お問合せ先/事務局 栗原 稔 TEL 045-591-1995  
印刷/有限会社 田丸文林堂

---

# 花の里づくりの会 案内図

## 花の里づくり参加団体 —寺社・公園—

- |       |       |      |        |
|-------|-------|------|--------|
| 蓮光西善専 | 華明方教念 | 寺寺寺寺 | 北杉山神社  |
|       |       |      | 杉山神社   |
|       |       |      | 新羽丘陵公園 |



バス停

鶴見川